

会議録

会議名	令和7年度第2回米原市図書館協議会
開催日時	令和7年9月13日（土）午前10時00分～午前11時45分
開催場所	米原市立山東図書館 研修室
出席者および欠席者	出席者：川瀬修委員、谷口恵理委員、田中理華委員、 桑原義明委員、棚池直美委員、澤頭英子委員、 横山和子委員、澤村貴生委員、山本由香里委員 欠席者：なし 事務局：梶川図書館長、寺義主任、佐藤主事
議題	協議事項 (1) 米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画） 内部評価について (2) 米原市子ども読書活動推進計画（第4次計画）（案）指標の設定について
結論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	<ul style="list-style-type: none"> ・米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画） 内部評価 <ul style="list-style-type: none"> 1 市民の求める資料を提供します 事務局案「C」 → 内部評価「C」 2 誰もが安心して利用できる便利な図書館を目指します 事務局案「B」 → 内部評価「B」 3 子どもたちの読書活動を見守り、支援します 事務局案「C」 → 内部評価「B」 4 市民と協働し、交流の場となる図書館を目指します 事務局案「B」 → 内部評価「A」 5 山東図書館・近江図書館の個性を生かしたサービスを提供します 事務局案「C」 → 内部評価「B」 ・米原市子ども読書活動推進計画（第4次計画）（案）指標 事務局案のとおり
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<p>■会長挨拶</p> <p>夏休みが終わり、9月になりました。夏休みは、子どもたちが自分の読みたい本を借りたり、保護者といっしょに本を探されたりしてにぎわっていました。図書館の本来の賑わいとはこういうものだと思っています。9月の静けさが少し寂しく感じるところです。本日は、図書館サービス基本計画の内部評価と子ども読書活動推進計画の指標の協議ということで内容が多いですが、様々な御意見をお願いします。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・事務局から委員9人全員の出席をいただいており、会議は成立している旨を報告 <p>協議事項（1）米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画） 内部評価について</p> <p>1 市民の求める資料を提供します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局、資料に基づき説明 <p>■会長 御意見や御質問がありましたらお願ひします。</p> <p>■委員 市民一人当たり図書館貸出冊数の目標値「12.5冊／年」の根拠を教えてください。</p> <p>■事務局 計画策定時の9.7冊／年（令和元年度）などを参考に貸出冊数を増やしたいと考えて設定しました。</p> <p>■会長 目標値設定の基準等は無いと思います。目標値に近づくために、どのような取り組みをするのかが重要です。ただ、あまり高い目標値に設定すると、達成が難しくなります。</p> <p>■委員 AからEの5段階評価は、それぞれ何%と決まっているのでしょうか。</p> <p>■事務局 内部評価では決まっておりません。数値の達成状況と成果と課題の内容を合わせて5段階評価をしていただきたいです。</p> <p>■委員 市民一人当たりの図書館貸出冊数は目標が高すぎて、達成できる可能性は低いように思います。</p> <p>■事務局 次回の図書館協議会から次期計画の策定に向けた検討が始まるので、数値目標は慎重に決めたいと思います。</p> <p>■会長 数値目標の達成状況だけを見るとD評価にしなければならなくなる指標もありますが、図書館の取組は、数値にすぐには現れないものもあります。数値目標もあっても良いですが、年度ごとの取組を指標</p>
--	--

にしてもいいのかもしれません。数値目標と取組みを総合的に評価するということで図書館協議会の評価としてはいかがでしょうか。

成果に「選書会議を年間51回開催」と書かれています。開催回数が魅力ある蔵書の構築にどのようにつながっているかは分かりにくいですが、それぞれの司書がカウンターで利用者の応対をし、要求をつかみ取ることが大切で、また書店などで出版情報も収集しながら、選書に生かし、それを毎週会議して決めているということを定期的でできているということです。

■委員

レファレンスと選書の関係はどのようにになっていますか。

■事務局

レファレンスは、お客様から本のお問合せをいただき、所蔵している本だけで回答できなければ、他の図書館などから本を取り寄せてお答えするようにしています。回答に適した資料が少ない場合は、選書して購入を検討しています。

■会長

レファレンス件数が年間で3,713件というのは多く感じます。レファレンスの定義はどのようにになっていますか。

■事務局

本に関するお問合せをカウントしています。読書案内などの軽易なものから調査が必要なものまで本に関連するお問合せをレファレンスとしています。

■副会長

レファレンス件数の子どもと大人の内訳はどのようにになっていますか。

■事務局

大人の方が多いです。

■会長

レファレンスの定義は図書館によって異なる場合があります。レファレンスは、資料要求にしっかりと向き合えているかが問われます。

■委員

各種団体が出されている広報紙などは地域資料として収集されていますか。

■事務局

積極的に収集はできていなくて、送付いただいたものをきちんと整理して提供しています。

	<p>■委員 ある団体の広報紙を探していたのですが、山東図書館では所蔵されていなかったので、できれば置いていただきたいです。</p> <p>■事務局 情報収集して検討させていただきます。</p> <p>■会長 広報紙やパンフレットなどは、図書館資料としてデータ登録されていますか。</p> <p>■事務局 登録しているものもあります。ファイルに綴じて保管しているものもあります。</p> <p>■会長 地域資料を収集し、次世代に地域のことを伝えていくことは、公共図書館の大切な役割の一つです。収集することが難しい場合もありますし、収集したものをどのように活用するかが課題かと思います。米原市立図書館では、シビックプライドコーナーで活用を図られています。この図書館サービス基本計画の全体評価の機会はありますか。</p> <p>■事務局 計画期間5年間を総括するような評価の予定はありません。年度ごとの評価を積み重ねます。</p> <p>■会長 取り組めなかつたことを次期計画に引き継いでいく形になるということですね。それでは、「1 市民の求める資料を提供します」の内部評価について、事務局案のとおり「C」でよろしいでしょうか。</p> <p>■各委員 賛成</p> <p>2 誰もが安心して利用できる便利な図書館を目指します ・事務局、資料に基づき説明</p> <p>■委員 (7) インターネットからの予約件数と(8) 高齢者施設への読書支援の目標値(令和8年度)が実績値(令和6年度)よりも低いのはなぜでしょうか。</p> <p>■事務局 目標値は計画策定時に定めた数値で、令和5年度に目標値を超えることができ、令和6年度もさらに数値を上げることができました。</p>
--	---

	<p>■委員</p> <p>高齢者の図書館利用を増やそうと思うと、高齢者の心理的障壁を低くする工夫が必要だと思います。本を借りるのが有料ではないかと心配されていたり、尋ねてもいいか分からぬと思っておられる場合もあるかと思います。本に会って、分からなかつたことが分かる喜びを感じてもらえると、次の利用にもつながります。高齢者にはもつと丁寧な説明や対応が必要です。</p> <p>■事務局</p> <p>取組の参考にさせていただきます。</p> <p>■会長</p> <p>(7) インターネットからの予約件数が増加していますが、何かシステムの運用を変えたような要因はありますか。図書館にある本の予約「在架予約」は、以前から可能でしたか。</p> <p>■事務局</p> <p>インターネットサービスの申込について、来館が必要だったところを、図書館利用カードをお持ちの場合は来館しなくても申込ができるように変更しました。在架予約は以前から行っています。</p> <p>■会長</p> <p>自分でパスワード設定ができるようになったのですね。高齢者には利用の方法をどのようにPRできるかが大切だと思います。</p> <p>■委員</p> <p>(8) 高齢者施設等への貸出冊数のところで、デイサービスなどに本を届けたときに施設利用者にPRすることはできていますか。</p> <p>■事務局</p> <p>この事業では、ボランティアさんが施設職員さんに本を届けてくださっている形ですので、図書館から施設利用者様へのPRはできません。</p> <p>■会長</p> <p>市内に高齢者施設はいくつありますか。</p> <p>■事務局</p> <p>約50施設あり、定期的に本を届ける事業を希望いただいた15施設にボランティアの皆さんのが本を運んでくださっています。</p> <p>■委員</p> <p>施設利用者の要望に合った本が届けられていると思いますが、施設内の掲示等で、事業内容や読みたい本の要望に応えられるということを施設利用者へPRすると、より良くなると思います。</p>
--	--

	<p>■事務局 御意見ありがとうございます。</p> <p>■会長 施設管理者も届いた本の置き方を工夫されているとのことですので、連携して施設利用者にも図書館サービスを提供していくのは重要なことだと思います。「2 誰もが安心して利用できる便利な図書館を目指します】の内部評価は、事務局案のとおり「B」でよろしいでしょうか。</p> <p>■各委員 賛成</p> <p>3 子どもたちの読書活動を見守り、支援します</p> <ul style="list-style-type: none">・事務局、資料に基づき説明 <p>■会長 前年度「B」だった評価を「C」に変更したのはなぜですか。</p> <p>■事務局 いくつかの数値目標が前年度よりも低くなっているからです。</p> <p>■委員 子どもの人数が減少しているため、児童書の貸出冊数などが減少するのは仕方がないことだと思います。</p> <p>■委員 令和6年度は「ルッチ魔法学校」など工夫したイベントを開催していただいている。イベント開催日は貸出冊数は増えるのでしょうか。</p> <p>■事務局 はい。増えます。イベントに参加して本を借りてもらうと更にプレゼントがもらえるような貸出につなげる工夫もしています。</p> <p>■会長 「3 子どもたちの読書活動を見守り、支援します」の内部評価は、事務局案「C」を「B」に変更してはどうでしょうか。</p> <p>■委員 イベントの開催と周知に努めてもらっているので、「B」がいいと思います。</p> <p>■会長 内部評価は「B」とします。イベント開催日の新規登録者数などを調べると、そのイベントが未利用者の来館のきっかけになったかが分</p>
--	---

	<p>かると思います。</p> <p>4 市民と協働し、交流の場となる図書館を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局、資料に基づき説明 <p>■会長</p> <p>2つの指標とも目標値を超えており、事務局案は「B」ですが、内部評価も「B」でよろしいでしょうか。</p> <p>■委員</p> <p>(15) ボランティアと活動した回数が目標を大幅に超えているので、「A 期待以上に達成できた」でもいいのではないか。</p> <p>■会長</p> <p>皆さん、いかがでしょうか。「A」でよろしいでしょうか。</p> <p>■各委員</p> <p>賛成</p> <p>5 山東図書館・近江図書館の個性を生かしたサービスを提供します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局、資料に基づき説明 <p>■会長</p> <p>特集展示をたくさんしていただいている。展示した本の貸出冊数は統計として取れていますか。</p> <p>■事務局</p> <p>取れていません。</p> <p>■会長</p> <p>図書館システムで特集展示の貸出冊数はカウントできそうですが、そこに手間をかけることは非もあるかと思います。内部評価は、事務局案は「C」ですが、「B」でもいいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>■各委員</p> <p>賛成</p> <p>協議事項（2）米原市子ども読書活動推進計画（第4次計画）（案） 指標の設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局、資料に基づき説明 <p>■会長</p> <p>指標について御意見はいかがでしょうか。評価が適切に行えるような指標にしていただければと思います。また、数値目標は高くしそう</p>
--	---

	<p>ないように設定してもらえればと思います。指標の年度ごとの評価は予定されていますか。</p> <p>■事務局</p> <p>評価は予定していません。年度ごとの数値の確認は行います。</p> <p>■会長</p> <p>この計画の対象者は何歳までですか。</p> <p>■事務局</p> <p>18歳までです。</p> <p>■会長</p> <p>高校生も含まれる読書の計画のことですね。米原市には高校が2つあります。</p> <p>■事務局</p> <p>高校生に向けた取組は行いますが、高校生の読書を図る指標は入れていない状況です。</p> <p>■会長</p> <p>指標全体について、評価の方法を工夫されるといいと思います。</p> <p>■委員</p> <p>⑨読書支援ボランティアが活動している学校・園の割合の指標で、中学校の実績値が低いのですが、読み聞かせボランティアはおられなくとも学校図書館の整備ボランティアは活動されておられることがあると思いますので、調査するときの聞き方にも工夫してもらえるとありがたいです。</p> <p>■事務局</p> <p>言っていただいたとおり幅広い活動が対象ですので、調査の設問を分かりやすくします。本日配布させていただいた計画（案）の中で図書館の取組の一部を赤字にしているところがあります。前回の計画案から修正させていただいたものです。「図書館外での読書活動の推進」は、新規で取り組みたいことで、あと2点は現行の取組を説明文に加筆したものです。</p> <p>■会長</p> <p>活発な議論をいただき、ありがとうございました。</p> <p>閉会あいさつ</p> <p>■副会長</p> <p>懸案事項であったイベントなどのPRも改善されてきているように感じています。子どもの読書活動推進については、学校図書館を授</p>
--	---

	業で活用した学校数の割合を指標にする議論がありました。回数も大事ですが、内容の充実も図れるといいと思います。子どもの読書活動推進に取り組んでいると、読書が「目的」になってしまっていることがあります。自分の反省でもあるのですが、読書は「方法」であるべきだと思います。子どもたちが創造力を育てたり、調べる楽しさを知ったり、生きる力を育んだりするための方法として、読書活動を推進していければと思っています。今後も引き続き議論をしていきたいと思います。本日はありがとうございました。
--	---

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <u>傍聴者： 0人</u> <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非 公 開 一部公開または非公開とした理由 (質問および発言者の委員名)
会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開 示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非 開 示 (根拠法令等：)
全部記録の有無	会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
担当 課	教育部 米原市立近江図書館 (内線 6540)